

2018年8月17日
 千代田化工建設株式会社
 IR・広報・CSR部

2019年3月期 第1四半期決算 電話会議での質疑応答（2018年8月8日発表）

2018年8月8日に開催した、証券アナリスト・機関投資家向け決算説明電話会議において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と、当社の回答を以下にまとめております。

質問

回答

2019年3月期・第一四半期実績について

米国 Cameron LNG プロジェクトで50億円損益が悪化した、との説明だったが、JV パートナーのマクダーモット社はUS\$ 165MM の追加コストを発表している。この違いの理由は何か。	US\$ 165MM という数字は JV として認識しているものではない。当社は現時点で完工迄に必要なコストを見積もり50億円の損益悪化とした。現在、JV として工事遂行プランを見直し中である。
Cameron LNG ではワーカーを直庸からサブコン経由に切り替えている、との説明であったが、どういうことか。	直庸方式のときはパートナーであるマクダーモット社(CB&I 社)がワーカーを雇って現場工事を行っていたが、一部の工事について、JV が現地工事会社に直接発注する方式に変更しているということ。
Cameron LNG の工事遂行プラン見直しはいつごろ完了する見通しか。	まだ正確なスケジュールは固まっていないが、9月中には終わらせたい。

2019年3月期・通期業績予想について

Cameron LNG の損益悪化により第一四半期は赤字決算となったが、通期予想は据え置いている。残り9ヶ月で改善する根拠は何か。	期首の段階である程度の備えをしていたこと、第2四半期以降に損益が改善する遂行中プロジェクトがあることから、期首予想を据え置いた。
---	--

その他

中国が米国産 LNG に25%の関税を課すことを発表した。このことが Golden Pass LNG の進展に影響を及ぼすか。	Golden Pass LNG のオーナーからは、米中貿易摩擦の影響によりプロジェクトが遅れるとは聞いていない。
---	--

以上